

(3) がん検診概要

胃がん検診

子宮がん検診

肺がん検診

乳がん検診

大腸がん検診

前立腺がん検診

胃がん検診

955事業所及び個人受診者15,046人と、ドックで4,791人、健康管理センターで11,394人の計31,231人を実施した。前年度に比べて、131人(0.42%)の増加となった。また、受診者の5.3%にあたる1,640人が要精検となり前年度より0.2ポイント低い要精検率となっている。年間の実施日数は1,597日(前年より34日の増加)で、一日当たり19.6人を実施した(表1)。

受診者総数31,231人を男女別でみると、男性19,834人(63.5%)、女性11,397人(36.5%)と、男性が多く、女性の約1.7倍であった(図1)。

年齢階層別では、50代11,299人(36.2%)、40代10,545人(33.8%)、60代5,568人(17.8%)の順となっている(図2)。過去6年間の推移をみると50代、40代では30%台で推移し、60代以降では上昇傾向を示し、30代以下は実施要領によるものと思える(図3)。

総合健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数

	出張検診		施設		ドック		合 計		延実施日数	一日当り 実施人数
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)		
事業所	9,084	441 (4.9)	5,962	269 (4.5)	4,791	296 (6.2)	19,837	1,006 (5.1)	1,225	16.2

附属あおもり健康管理センター

事業所	2,809	148 (5.3)	8,585	486 (5.7)	*	*	11,394	634 (5.6)	372	30.6
-----	-------	--------------	-------	--------------	---	---	--------	--------------	-----	------

合 計

事業所	11,893	589 (5.0)	14,547	755 (5.2)	4,791	296 (6.2)	31,231	1,640 (5.3)	1,597	19.6
前年度	11,697	625 (5.3)	14,761	801 (5.4)	4,642	271 (5.8)	31,100	1,697 (5.5)	1,563	19.9

図 1 受診者数 (男女別)

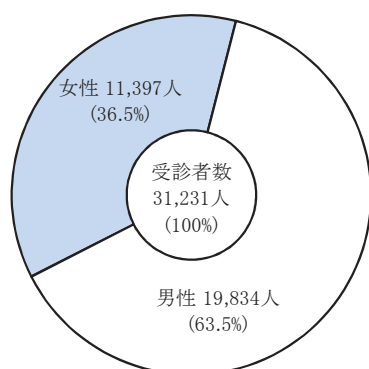


図 2 年齢階層別受診状況

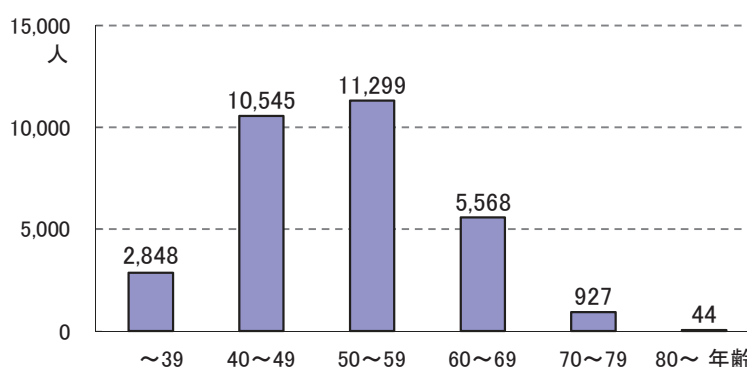


図 3 年齢階層別受診率 (平成30度～令和5年度)



<精検受診状況>

要精検者1,640人のうち精検受診者は1,182人(72.1%)で(図4)、前年より1.6ポイント増の精検受診率となった。男女別の精検受診率は、女性の80.9%に対し、男性は69.4%と女性より11.5ポイントも低かった(表2)。

また、実施主体別で見ると、市町村の精検受診率81.4%に比べ、事業所の精検受診率は70.8%、ドックでは78.0%で、それぞれ10.6ポイントと3.4ポイント低かった(表3)。

精検受診者の主な発見疾患は、胃がん発見数15人(0.05%)のうち早期がん11人、進行がん4人で、胃ポリープ155人(0.50%)、胃潰瘍20人(0.06%)、胃炎584人(1.87%)などであった(表3)(表4)(表5)。

図 4 精検受診状況

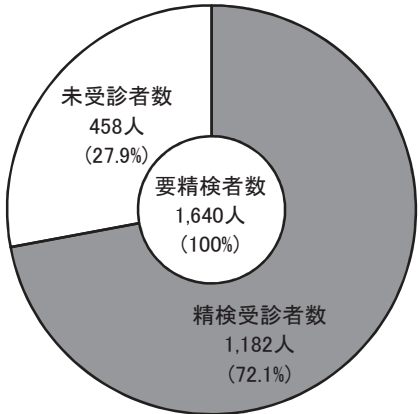


表2 精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男 性	1,257	872 (69.4)
女 性	383	310 (80.9)
計	1,640	1,182 (72.1)

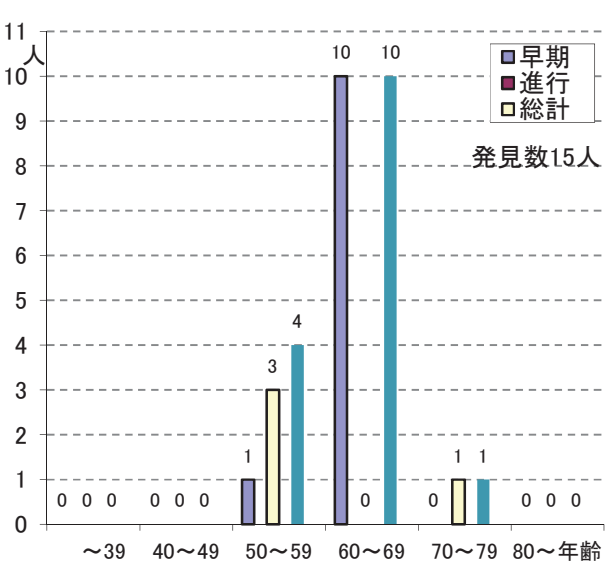
表3 主な発見疾患

	受 診 者 数	要 精 検 者 数	精 検 受 診 者 数 (%)	精 密 検 査 結 果												要 精 検 者 本 人	か ら の 受 診 報 告
				胃がん		胃がん疑	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	共存潰瘍	胃潰瘍癒痕	胃炎	その他	異常なし	計		
				早期	進行												
事業所	26,440	1,344	951 (70.8)	11 8	3	0	126	19	11		50	479	114	120	930	21	
ドック	4,791	296	231 (78.0)	4 3	1	1	29	1	4		7	105	42	29	222	9	
合 計	31,231	1,640	1,182 (72.1)	15 11	4	1	155	20	15	0	57	584	156	149	1,152	30	

表4 発見がん(年齢階層別・男女別・早期進行別)

		早 期	進 行	男女計	合 計
～39	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
40～49	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
50～59	男	1	3	4	4
	女	0	0	0	
60～69	男	9	0	9	10
	女	1	0	1	
70～79	男	0	1	1	1
	女	0	0	0	
80～	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
男女計	男	10	4	14	15
	女	1	0	1	
合 計		11	4		

表5 発見がん(早期進行別・年齢階層別)



子宮がん検診

275事業所及び個人受診者 1,693人と、ドックで 1,723人、健康管理センターで 1,353人の計 4,769人に実施した。なお、頸部受診者の 1.4%に当たる 69人が要精検となり、前年より 0.3ポイント減の要精検率となった(表1)。

検査方式別では、出張検診及び施設(センター)で 3,046人 (63.9%)、ドックで 1,723人 (36.1%)であった(図1)。前年に比べて、出張検診及び施設(センター)で23人の増、ドックで 36人の増で計 59人の増加であった。

また、一次検診における主な発見疾患は、子宮筋腫 202人 (4.2%)、ポリープ129人(2.7%)などであった。

総合健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数(頸がん)

	受 診 者 数	要精検者数 (%)	実 施 日 数	一日当たり 実 施 数
出 張 検 診	432	5 (1.2)	21	20.6
施 設	1,261	23 (1.8)	77	16.4
計	1,693	28 (1.7)	98	17.3
ド ッ ク	1,723	17 (1.0)	108	16.0
合 計	3,416	45 (1.3)	206	16.6

附属あおもり健康管理センター

施 設	1,353	24 (1.8)	40	33.8
計	1,353	24 (1.8)	40	33.8

合 計

出 張 検 診	432	5 (1.2)	21	20.6
施 設	2,614	47 (1.8)	117	22.3
計	3,046	52 (1.7)	138	22.1
ド ッ ク	1,723	17 (1.0)	108	16.0
合 計	4,769	69 (1.4)	246	19.4
前 年 度	4,710	80 (1.7)	242	19.5

図 1 方式別受診状況

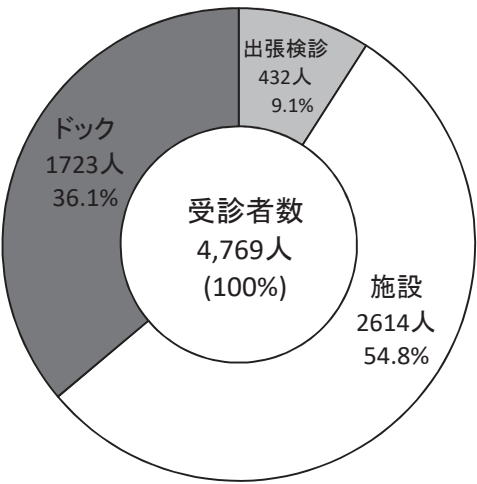


表 3 一次検診における発見疾患

	受 診 者 数	ビ ラ ン (+)	ビ ラ ン (疑 悪 性)	膣 炎				ポ リ プ	外 腫 陰 腫 瘤	子 宮 筋 腫	卵 巣 腫 瘤	子 宮 脱	膣 脱	そ の 他	所 見 な し
				ト ナ リ コ モ	ナ ス 症	真 菌 類 (キャン ジダ)	そ の 他								
出張検診	432							7		12			1		412
施 設	2,614							42		68			1	12	2,496
ド ッ ク	1,723							80		122		1	1	17	1,509
合 計	4,769							129		202		1	3	29	4,417

＜精検受診状況＞

子宮がん(頸部)検診の要精検者 69人のうち精検受診者 61 人 (88.4%)で、前年に比べて 0.9ポイント上回った(表4)。

精検の結果、頸がんが 1人で、上皮内がんが0人であった(表5)。

表 4 精検受診状況(頸部)

	要精検者数	精検受診者数(%)	発 見 が ん
出張検診	5	5 (100.0)	
施 設	47	40 (85.1)	1
ド ッ ク	17	16 (94.1)	
合 計	69	61 (88.4)	1
前 年 度	80	70 (87.5)	(0) 1

()は体部癌等

表 5 発見頸がん(進行別・年齢階層別)

	上皮内がん	浸潤がん	合 計	
			早期	進行
～29				
30～39				
40～49		1	1	1
50～59				
60～69				
70～79				
80～				
合 計		1	1	1

肺がん検診

事業所及び個人受診者16,825人と、ドックで5,884人、健康管理センターで1,041人の計23,750人を実施した。前年度に比べて、343人（1.5%）の増加となった。受診者の1.8%にあたる420人が要精検となり、前年度より0.1ポイント上回った。また、肺がんX線撮影受診者23,190人のうち、ハイリスク・グループを対象に実施した喀痰細胞診検査は、事業所の対象者1,135人のうち検査者1,127人（99.3%）となり前年度と比べ0.1ポイント高く、ドックでは100%の回収となった。

なお、年間の実施日数は877日（前年より20日増）で、一日当たり27.1人を実施した（表1）。
受診者総数23,750人を男女別でみると、男性15,091人（63.5%）、女性8,659人（36.5%）と男性が多く、女性の約1.7倍であった（図1）。

年齢階層別では、50代7,266人（30.6%）、40代7,214人（30.4%）、30代以下4,920人（20.7%）の順となっている（図2）。過去の推移をみると、30代以下、60代が上昇を示しており、他の年代は減少傾向がみられる（図3）。

健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数

区分 主体別	胸部X線検査、CT検査		喀痰細胞診検査		実施日数	一日当たり 実施数
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)		
出張	14,342	174 (1.2)	368	0 (0.0)	266	53.9
施設	2,483	43 (1.7)	139	0 (0.0)	179	13.9
ドック	5,884	183 (3.1)	431	0 (0.0)	213	27.6
合 計	22,709	400 (1.8)	938	0 (0.0)	658	34.5
附属健康管理センター						
事業所	1,041	20 (1.9)	189	0 (0.0)	219	4.8
合 計						
合 計	23,750	420 (1.8)	1,127	0 (0.0)	877	27.1
前年度	23,407	387 (1.7)	1,083	0 (0.0)	857	27.3

図 1 受診者数（男女別）

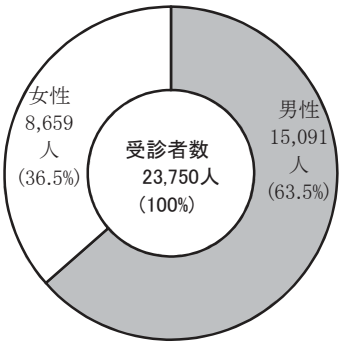


図 2 年齢階層別受診状況

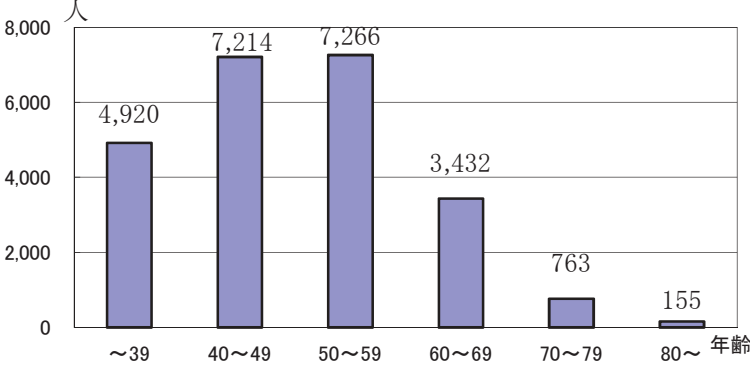
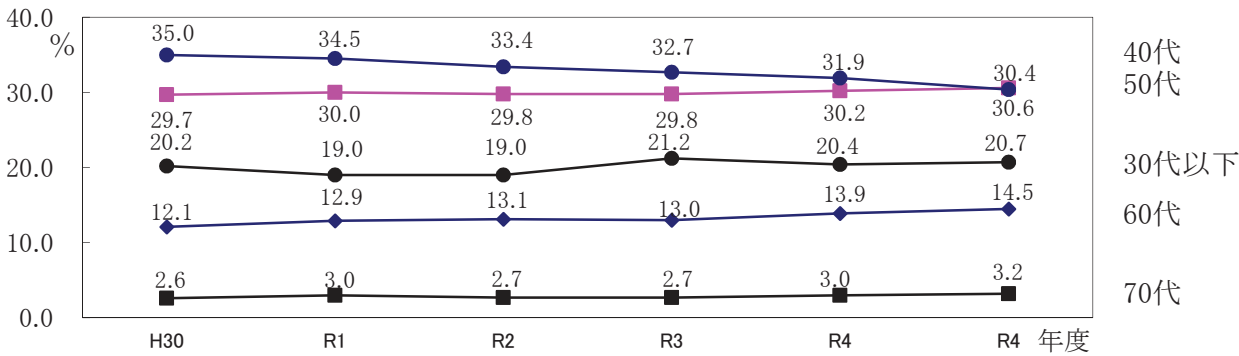


図 3 年齢階層別受診率（平成29年度～令和4年度）



＜精検受診状況＞

X線撮影で要精検となった420人 のうち精検受診者は343人（81.7%）で(図4)、前年と比べ 2.0ポイント減少であった。男女別の精検受診率は、男性の77.7% に対し、女性は89.1% と男性より11.4ポイント高かった(表2)。実施主体別でみると、ドック79.2%、事業所は83.5% であった。

また、精検受診者の主な疾患は、肺がん7人、肺がん疑13人、他呼吸器111人 であった。 喀痰細胞診検査については要精検者はいませんでした。

図 4 X線・CT精検受診状況

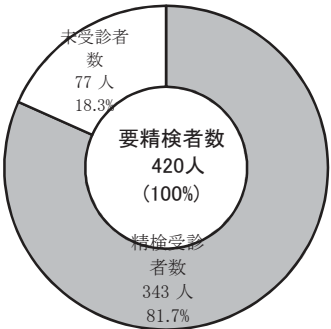


表2 X線・CT精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男 性	273	212 (77.7)
女 性	147	131 (89.1)
計	420	343 (81.7)

表 3 主 な 疾 患

区分 主体別		受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 密 検 査 結 果											
					肺がん			肺がん疑	他悪性腫瘍	結核要医療	結核要観察	結核治癒	他呼吸器	循環器	他異常	異常なし
					早期	進行	不明									
X線・CT検査	事業所	17,866	237	198	6			1	1			1	72	1	20	96
					2	4										
	ドック	5,884	183	145	1			12				39	1	29	63	
					1											
	計	23,750	420	343	7			13	1	0	0	1	111	2	49	159
3	4	0														
喀痰検査	事業所	696	0	0												
	ドック	431	0	0												
	計	1,127	0	0												0
合 計		420	420	343	7			13	1	0	0	1	111	2	49	159
					3	4	0									

表 4 確定がん（年齢階層別・男女別・早期進行別）X線(CT含む)

区分 年齢別	早 期 が ん					進 行 が ん					不 明		合 計
	男 性		女 性		計	男 性		女 性		計	男性	女性	
	X線	喀痰	X線	喀痰		X線	喀痰	X線	喀痰		X線	X線	
～ 39													
40 ～ 44													
45 ～ 49													
50 ～ 54								2		2			2
55 ～ 59													
60 ～ 64	1		1		2			2		2			4
65 ～ 69	1				1								1
70 ～ 74													
75 ～ 79													
80 ～													
合 計	2		1		3					4			7
	2		1										

乳がん検診

事業所及び個人受診者1,235人と、ドックで2,053人、健康管理センターで1,238人の計4,526人を実施した。前年度に比べて182人（4.0％）の増となった。

受診者の7.8％にあたる352人が要精検となり前年度比でポイント高くなった。なお、年間の実施日数は369日で、一日当たり12.3人を実施した。

受診者のうち乳房画像診断のみの者は4,526人（100％）であった。

総合健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数・経過観察者数

	実施主体	乳がん検診		検査方法			実施 日数	一日当たり 実施数
		受診者数	要精検者数 (%)	視触診のみ	画像診のみ	視触診＋画像		
出張検診	事業所	288	17 (5.9)	－	288	－	16	18.0
施設		947	78 (8.2)	－	947	－	74	12.8
ドック	事業所	2,053	174 (8.5)	－	2,053	－	126	16.3
合計		3,288	269 (8.2)	－	3,288	－	216	15.2

附属あおり健康管理センター

施設	事業所	1,238	83 (6.7)	－	1,238	－	153	8.1
	計	1,238	83 (6.7)	－	1,238	－	153	8.1

合計

出張検診	事業所	288	17 (5.9)	－	288	－	16	18.0
施設		2,185	161 (7.4)	－	2,185	－	227	9.6
ドック	事業所	2,053	174 (8.5)	－	2,053	－	126	16.3
合計		4,526	352 (7.8)	－	4,526	－	369	12.3
前年度		4,344	319 (7.3)	－	4,344	－	349	12.4

ドックでは乳房超音波検査とX線を用いた画像診断としている

<精検受診状況>

乳がん検診での要精検者352人のうち精検受診者は298人（84.6％）で(図1)、前年と比べてポイント4.4の減となった。精検受診者の主な発見疾患は、乳がん発見数20人（6.7％）のうち早期がん16人、進行がん4人、不明0人で、乳腺腫瘍人（7％）、乳腺症人（％）などであった(表2)(図2)。また、マンモグラフィ＋乳腺超音波受診者は、人（％）で、そのうち要精検者は人、精検受診者は人(％)、がん発見数は例(％)であった。

図 1 乳がん検診精検受診状況

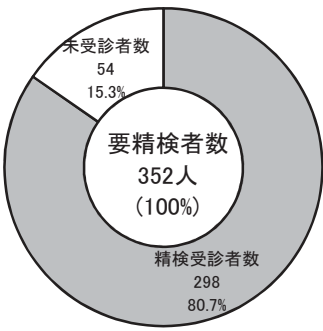
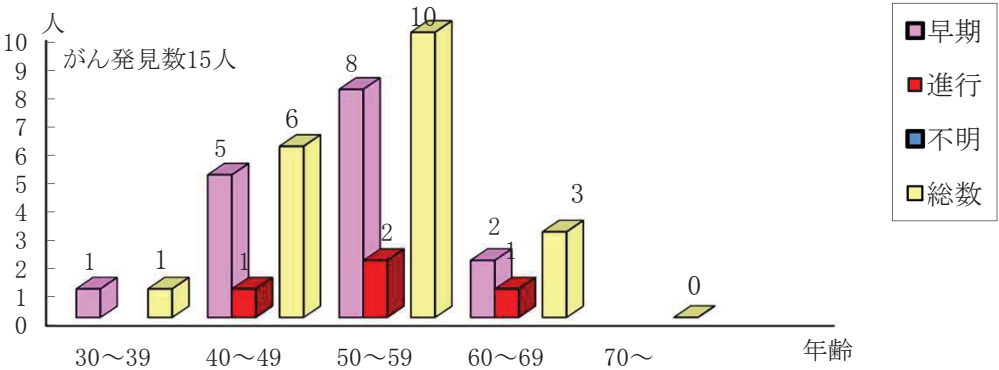


表 2 主 な 発 見 疾 患

	受 診 者 数	要 精 検 者 数	診 精 者 検 数 受 (%)	精 密 検 査 結 果								
				乳がん			乳 が ん 疑	乳 腺 腫 瘍	乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他	異 常 な し
				早 期	進 行	不 明						
事業所	2,473	178	155 (0.87)	15 11 4			1	8	5	16	53	57
ドック	2,053	174	143 (82.2)	5 5				13	24	20	42	1879
合 計	4,526	352	298 (84.7)	20 16 4			1	21	29	36	95	1936

図 2 発見乳がん(早期進行別・年齢階層別)



大腸がん検診

1045事業所及び個人受診者19,030人、ドックで5,727人、健康管理センターで15,009人の計39,766人を実施した。前年度に比べて、700人(1.79%)の増加となった。受診者の4.5%にあたる1,782人が要精検となり、前年より0.3ポイント高くなっている(表1)。

受診者総数39,766人を男女別で見ると、男性23,956人(60.2%)、女性15,810人(39.8%)で、男性が約6割を占めている(図1)。

年齢階層別では、50代14,034人(35.3%)、40代12,416人(31.2%)、60代7,875人(19.8%)の順となっている(図2)。過去6年間の推移をみると、40代、50代は30%台で推移し、それに60代が続いている(図3)。

総合健診センター

表 1 受診者数及び要精検者数

	出張検診		施設		ドック		合計	
	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)
事業所	11,376	463(4.1)	7,654	366(4.8)	5,727	233(4.1)	24,757	1,062(4.3)
附属あおもり健康管理センター								
事業所	4,182	193(4.6)	10,827	527(4.9)	*	*	15,009	720(4.8)
合計								
合計	15,558	656(4.2)	18,481	893(4.8)	5,727	233(4.1)	39,766	1,782(4.5)
前年度	15,237	579(3.8)	18,314	840(4.6)	5,515	216(3.9)	39,066	1,635(4.2)

図 1 受診者数 (男女別)

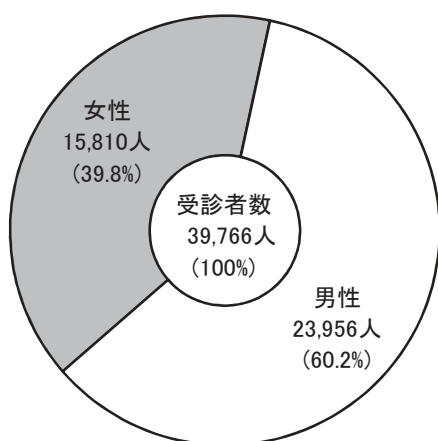


図 2 年齢階層別受診状況

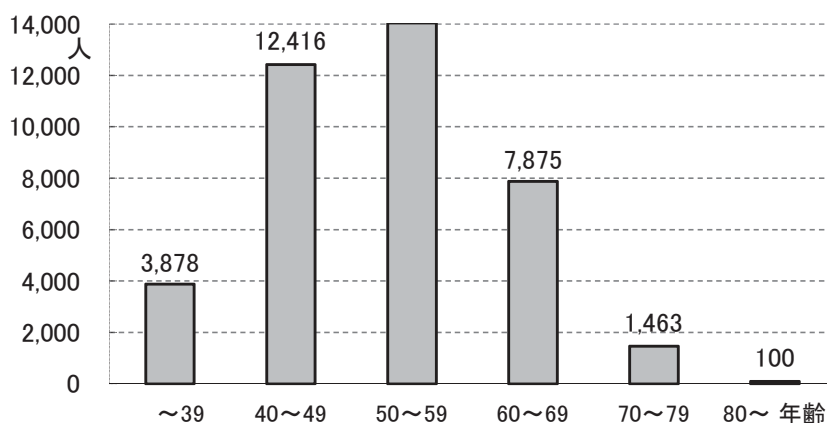


図 3 年齢階層別受診率 (平成30年度～令和5年度)



＜精検受診状況＞

要精検者1,782人のうち精検受診者は1,163人(65.3%)で(図4)、前年に対し0.7ポイント低くなった。男女別の精検受診率は、女性の68.4%に対し、男性は63.9%と4.5ポイント低かった(表2)。また、実施主体別で見ると事業所の精検受診率(65.3%)が、市町村の精検受診率(78.5%)に比べ13.2ポイント低かった。

精検受診者の主な発見疾患は、大腸がん発見数54人(0.14%)のうち早期がん34人、進行がん20人、大腸ポリープ582人(1.46%)、大腸憩室64人(0.16%)などであった(表3)(表4)(図5)。

図4 精検受診状況

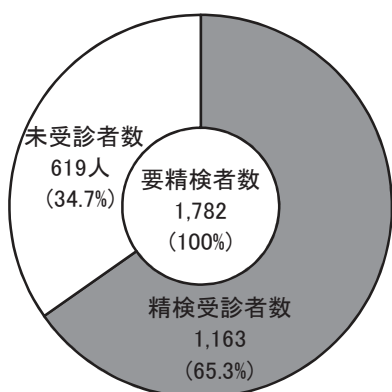


表2 精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男 性	1,250	799 (63.9)
女 性	532	364 (68.4)
計	1,782	1,163 (65.3)

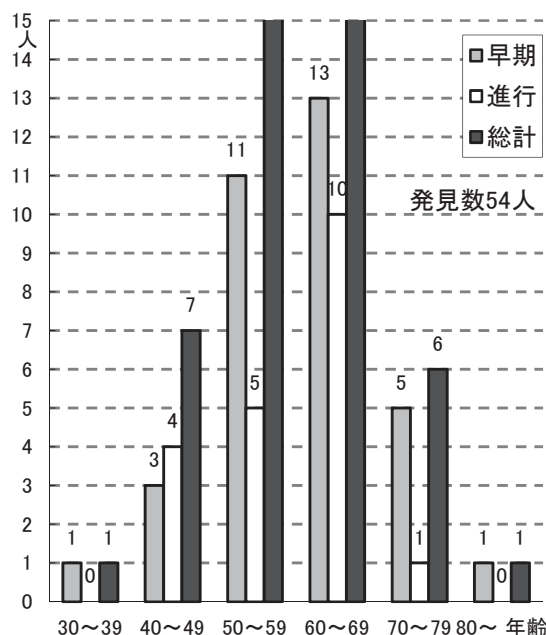
表3 主な発見疾患

	受 診 者 数	要 精 検 者 数	精 検 受 診 者 数 (%)	精 密 検 査 結 果											要 精 検 者 本 人	からの 受 診 報 告	
				大腸がん			大腸がん疑	大腸ポリープ	大腸憩室	大腸炎	痔	その他	胃疾患	異常なし			計
				早期	進行	不明											
事業所	34,039	1,549	1,003 (64.8)	50			3	499	55	27	59	12	5	253	963	40	
				30	20	0											
ドック	5,727	233	160 (68.7)	4			1	83	9	6	3	1	0	45	152	8	
				4	0	0											
合 計	39,766	1,782	1,163 (65.3)	54			4	582	64	33	62	13	5	298	1,115	48	
				34	20	0											

表4 発見がん(年齢別・男女別・早期進行別)

		早期	進行	不明	男女計	合計
30～39	男	1			1	1
	女				0	
40～49	男	3	3		6	7
	女		1		1	
50～59	男	6	3		9	16
	女	5	2		7	
60～69	男	9	8		17	23
	女	4	2		6	
70～79	男	3	1		4	6
	女	2			2	
80～	男				0	1
	女	1			1	
男女計	男	22	15	0	37	54
	女	12	5	0	17	
合 計		34	20	0		

図5 発見がん(早期進行別・年齢別)



前立腺がん検診

191事業所及び個人受診者4,116人と、ドックで3,265人、健康管理センターで2,048人の計9,429人を実施し、前年度より407人(4.1%)の減だった。また、受診者の4.1%にあたる389人が要精検となった。なお、年間の実施日数は917日で、一日当たり10.3人を実施した(表1)(表2)。

実施にあたっては原則として50歳以上を検診の対象者とした。
年齢階層別では、50代3,206人(34.0%)、60代2,534人(26.9%)、70代1,414人(15.0%)、40代1,398人(14.8%)、80代以上308人(3.3%)、39歳以下569人(6.0%)となっている(図1)。

健診センター

	出張検診		施設		ドック		合計		実施日数	一日あたり 実施数
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)		
事業所	3,307	37 (1.1)	809	184 (22.7)	3,265	108 (3.3)	7,381	329 (4.5)	710	10.4

附属あおもり健康管理センター

事業所	497	17 (3.4)	1,551	43 (2.8)	*	*	2,048	60 (2.9)	207	9.9
-----	-----	-------------	-------	-------------	---	---	-------	-------------	-----	-----

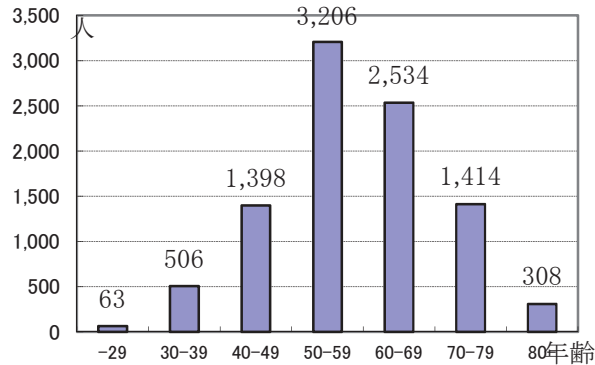
合計

合計	3,804	54 (1.4)	2,360	227 (9.6)	3,265	108 (3.3)	9,429	389 (4.1)	917	10.3
前年度	4,281	174 (4.1)	2,428	93 (3.8)	3,127	90 (2.9)	9,836	357 (3.6)	929	10.6

表 2 年齢階層別要精検者数

区分 年齢別	受診者数	正 常 4.0 未満	要 精 検			
			4.0～10.0	10.1～20.0	20.1～50.0	50.1以上
～ 29	63	62	1			
30 ～ 39	506	505	1			
40 ～ 49	1,398	1,381	16	1		
50 ～ 59	3,206	3,137	63	5	1	
60 ～ 69	2,534	2,399	120	13	1	3
70 ～ 79	1,414	1,282	117	10	2	3
80 ～	308	273	28	5	2	
合 計	9,429	9,039	346	34	6	6

図 1 年齢階層別受診状況



〈精検受診状況〉

要精検者389人のうち精検受診者は221人(56.8%)であった。精検受診者の主な発見疾患は、前立腺がん発見数26人(0.3%)のうち早期がん14人、前立腺肥大症133人(1.4%)などであった(表3)(表4)(図2)。

表 3 主 な 発 見 疾 患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数率	精密検査結果					
				前立腺がん			前立腺肥大	その他の疾患	異常なし
				早期	進行	不明			
事業所	6,164	281	185 (65.8)	21			115	13	36
				10	3	8			
ドック	3,265	108	36 (33.3)	5			18	6	7
				4		1			
合 計	9,429	389	221 (56.8)	26			133	19	43
				14	3	9			

表4 発見がん（年齢別・早期進行別）

	早期	進行	不明	合計
40～49	1			1
50～59			1	1
60～69	7	1	4	12
70～79	4	1	3	8
80～	2	1	1	4
合 計	14	3	9	26

図2 発見がん（早期進行別・年齢別）

